



経堂バプテスト教会

# 教会短信

2015年10月4日

No. 65

牧師 間瀬 善彦

朝晩涼しく、秋らしい季節になりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

国会は、残念ながら安全保障関連法が成立してしまいました。国会前の多くの人びとの叫びは与党の政治家たちには無視されました。しかし、これで終わったわけではありません。これからがわたしたちの正念場です。この法律に賛成の人も、反対の人も、次の国政選挙ではわたしたちの民意を明確に示しましょう。昨年12月の衆議院選挙では、47%の人たちが棄権したそうです。政治に対する無関心やあきらめがあったのでしょうか。これらの人たちも次回の選挙には、確実に投票所に足を運んでいただくように呼びかけてまいりましょう。

安倍首相は、アメリカに今年の夏までにこの安保法を成立させると約束していたそうです。アメリカに追随する安倍首相の姿勢には危惧を感じます。外国の脅威を強調し、日本が同盟国を助けるために外国に自衛隊を派遣することが、本当に戦争を未然に防ぐことになるのでしょうか。

資源に乏しい日本は、世界のあらゆる国々と友好関係を築くことが大切です。現に日本は食料のほとんどを外国からの輸入に頼っています。これからは、国際貢献のために派遣される自衛隊は、武器を持つ実質的な軍隊と見なされ、攻撃の対象とされるでしょう。日本から海外に赴任する駐在員も、アメリカを敵視するISの関係者から狙われるかもしれません。このように、日本にとって、良いことよりも悪いことの方が多いのではないのでしょうか。

国際紛争は、武力ではなく、絶え間ない外交努力によって解決するべきです。なぜなら、武力による紛争解決は、恨みや敵意が残るからです。武力で押さえつけられた者は、少しずつ武力を蓄え、相手のすきを見て、必ず反撃しようとするでしょう。

わたしたちは、敵意を乗り越えられた方から学ばなければなりません。「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、……十字架によって敵意を滅ぼされました」(エフェソ 2:14-16)。キリストは、すべての人びとの罪の身代わりに十字架にかかって死ぬという方法で、敵意を滅ぼされました。国際紛争は、国益という欲によって起こされます。人間は欲によって罪を犯すのです。わたしたちはこの罪の存在に気づき、争いによってではなく、話し合いによって、この世に平和を実現させましょう。

## 「南相馬市 被災地を『神の目から見れば・・・』」

東京、首都圏の皆様、こんにちは！！ フクシマより放射能被害をまだライブで受けている私達の声をお届けします。原発の放射能は、この先 80 年、最短のものでも 30 年生き続け、安全に戻る日はずっと先です。南相馬市民 7 万人中 2 万人がまだ自宅に戻ることが出来ません。市民 7 万人中 1 万人の人々が都会地に仕事を求めて移住し、若い人々がいない「20 年後の日本」（高齢者でいっぱい）の状況です。2011・3・11 の大地震、続いての大津波、市民 636 人が一夜にして亡くなりました。その夜の余震は、震度 3～5 が 160 回続いたそうです。翌朝自宅から 23 km 南の東京電力福島第一原子力発電所は、水素爆発をドーンと起こしました。毎日 5 千人が逃げました。その後、10 日～1 ヶ月の間、市内には食料とガソリンが無くなり「兵糧攻め」の状況になり飢えました。私達は幸い経堂教会に避難させて頂き、暖かい支援を頂き、何とか生き延びることが出来ました。突然やって来た「3 大悲劇」に「神様、何故？」と苦しみました。私の教会（原町聖書教会）のクリスチャン達も逃げ、「散らされた」状態になりました。牧師夫妻が礼拝を守り教会員達も 1 ヶ月後位から戻り始めました。ただ耐えるだけの絶望状態から私達を救ったものは「神への信仰」でした。聖書に聴き（読むこと）、デボーション、そして祈る。ただ、ただ祈る。原町聖書教会は原発警戒区の外にあるので住まいを追われた人はいなかったけれど、市民は 2 万人が自宅を追われ「強制撤去」のようになって、仮設住宅や私の家付近の民間アパートに沢山避難して来られ今も住み続けています。クリスチャンや福祉チームが「訪問活動」を続けていますが、自死が絶えません。今、私達南相馬市民に必要なものは「心の復興」と「希望」です。神様は私達に「強い試練」を与えられ、私達はただ耐え祈るばかりでした。その祈りの中で、市民の心の復興のために、神様は私達にいろいろな活動を起こしてくださり、改めて主の素晴らしさをかみしめています。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」（新改訳、使徒の働き 16:31）。教会員達は、一人暮らしの高齢者の傾聴ボランティア、障害者の家族のための会、また、仮設住宅訪問など、また教会には、県外から支援に来られて定住した人、この先定住予定の人、また除染作業員の方、雑多な人々が礼拝に来られ、大変忙しくなりました。市民が自ら立ち上がろうと「集い場」「語り場」を作っている活動もあります。「集い場」にはクリスチャンは私一人だけど、いつもイエス様が共にいてくださるご臨在を感じます。この「集い場」は、市民が「ひとりぼっち」にならないよう力を合わせて企画しているものです。仮設店舗（食堂）（仮設住宅と同じ素材）の建物はおおかた建ちましたが、「心の復興」を大事にして、活動して行きたいです。

神の目から見れば・・・私達は信仰を強め、ただ従い続けるものとしてあるように、神の目に

正しい道を歩むようにテストされたと思います。混沌とした状況の中で主はこう言われる。「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな（同、詩篇 103:2）あの大惨事から4年と5ヶ月になります。主のみこころが私達の上に豊かにありますように。

アーメン （続きは次号に） Y.M



## キリスト教講演会

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ローマ 12:15）。

日時 2015年10月18日(日)  
午前10時30分～12時

会場 経堂バプテスト教会

講師 山田 雄次先生  
・社会福祉法人 バプテスト心身障害児（者）を守る会 理事長  
・高須キリスト教会協力牧師

体の不自由な方たちと長年寄り添われてこられた先生のお話です。

どなたでもご自由にご参加ください。

## 聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

## 聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

## 教会学校（幼児科）

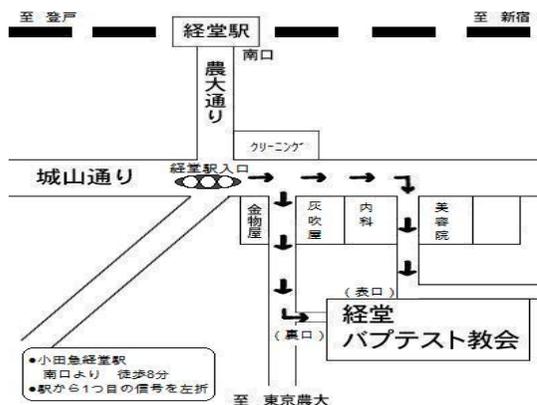
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

## 教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



## 経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。